

## 新型インフルエンザウイルス（ブタ由来インフルエンザ A/H1N1）および

## 各種動物インフルエンザウイルスの反応性について

DSファーマバイオメディカル株式会社

当社インフルエンザウイルスキット QuickVue ラピッド SP influ の「高病原性トリ型インフルエンザウイルス（H5N1 株）」に対する反応性については、以下の分離ウイルス株を用いた実験により、ヒトインフルエンザウイルスと同程度の感度で検出可能であることが確認されています。

鶏由来 Chicken/Yamaguchi/7/04 (H5N1)

ヒト由来 Hong Kong/483/97 (H5N1)

Hong Kong/156/97 (H5N1)

(北海道大学獣医学研究科 喜田らの検討による。)

A/Auckland/1/2009 A(H1N1)swl

A/Auckland/3/2009 A(H1N1)swl

A/California/4/2009 A(H1N1)swl

(influenza and Other Respiratory Viruses2009;Volume 3 Issue 4:171-176 より引用)

また、上記 H5N1 株以外の各種動物由来インフルエンザウイルス株(下記)に対しても、QuickVue ラピッド SP influ が反応することが確認されています。

動物由来 H1 型 Duck/Tottori/723/80 (H1N1)

H2 型 Duck/Hokkaido/17/01 (H2N2)

H3 型 Duck/Mongolia/4/03 (H3N8)

H4 型 Duck/Czech/56 (H4N6)

H5 型 Duck/Pennsylvania/10218/83 (H5N2)

H6 型 Turkey/Massachusetts/3740/65 (H6N2)

H7 型 Seal/Massachusetts/1/80 (H7N7)

H8 型 Turkey/Ontario/67 (H8N4)

H9 型 Turkey/Wisconsin/66 (H9N2)

H10 型 Chicken/Germany/N/49 (H10N7)

H11 型 Duck/England/56 (H11N6)

H12 型 Duck/Alberta/60/76 (H12N5)

H13 型 Gull/Maryland/704/77 (H13N6)

H14 型 Mallard/Astrakhan/263/82 (H14N5)

H15 型 Duck/Australia/341/83 (H15N8)

(北海道大学獣医学研究科 喜田らの検討による。)

ただし、これらウイルスも検体中に一定量(およそ  $1 \times 10^5$  pfu/mL程度)以上のウイルス粒子が存在しないと陽性反応にならないことはヒト型インフルエンザウイルスの場合と同様ですので、QuickVue ラピッド SP influ で陰性結果である場合でも、これらインフルエンザウイルスの感染を 100%否定するものではありません。また、QuickVue ラピッド SP influ で陽性となっても、どの亜型のインフルエンザウイルスであるかまではわかりません。亜型の同定については、分離されたウイルスの抗原解析や遺伝子検査など、さらに詳細な解析を行う必要があります。

以上